■コイルの保守

Ⓘ 許容の電圧変動は規格で定めておりますように、定格の 85 ～110%であります。電圧が高過ぎると吸引の際衝撃が大きくなり、各部に悪い影響をおよぼすばかりでなく、コイルを過熱し、コイルの寿命を短くします。電圧が低すぎると電磁石の吸引する力が不足するためマグネットに唸りを生じたり、接触子の接触圧力が弱くなるため溶着現象をおこしたりいたします。したがって許された電圧の範囲で使用するようにご注意ください。

■電磁石の接触面

Ⓘ 接触面にゴミがついたり、サビが発生すると、うなりの原因になります。

- **ゴミのついている場合**
  布でふいて、手入れをしてください。
- **サビのついている場合**
  サンドペーパーを平らな台にのせその上で、サビ面を下にして軽く平たんにみがいてください。

故障診断表

	サーマルリレー					その他																
	サーマルリレーが動作している	サーマルリレー電流の選定誤り	ヒーターの酸化腐食	サーマルリレー動作不良	ヒーターの溶断	操作回路の配線不良	進相コンデンサーの設置法	操作スイッチのチャタリング	操作スイッチの動作および接触不良	操作回路電圧の適用誤り	取付状態誤り	容量の選定誤り	開閉ひん度が高過ぎる	塵埃ガスに対する保護構造選定誤り	負荷側の短絡又は接地	可逆形の時の結線誤り	電磁コイルタップ結線誤り	負荷の起動時間が長い	振動および衝撃が大きい	配線不良	周囲温度の高過ぎ	周囲温度の低過ぎ	相手機械の過負荷	配線の短絡事故